

ゆたかクラブ豊橋だより

去 秋



第58号

■発行／ゆたかクラブ豊橋(豊橋市老人クラブ連合会) ■編集協力(株)博報社／名古屋市北区田幡2-13-23 2F-B ☎0120-0212-09

第26回 豊橋市シルバースポーツ中央大会



11月16日、第26回豊橋市シルバースポーツ中央大会が開催されました。大会には、9ブロックから予選を突破した34校区約300名が参加。高師緑地内の3会場に分かれ、ゲートボール、ペタンク、グラウンド・ゴルフの3競技で頂点を競いました。

当日は朝こそ冷え込んだものの、晴天が広がる絶好のスポーツ日和となりました。開会式に先立ちゲートボールの予選リーグがスタートし、早朝から頭脳戦が繰り広げられました。他の競技も順次行われ、各会場には拍手や歓声が響き渡りました。

試合の合間には、それぞれの試合経過を報告し合う様子や、自身の競技を終えた参加者が他の会場へ応援に回る姿も見られ、競技の枠を超えて親睦が深まった大会となりました。

★ブロック総合優勝 石巻ブロック



〈優勝コメント〉
勝因は、やっぱりみんなの団結力です。皆さんの協力のおかげだと思います。

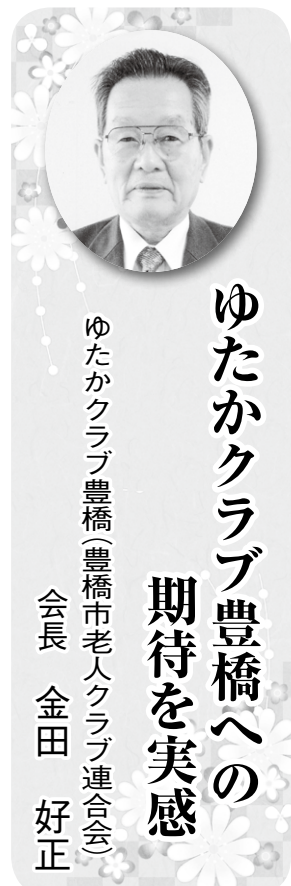
★ブロック総合準優勝 大清水ブロック



〈準優勝コメント〉
日頃から、みんなで一緒にグラウンド・ゴルフを練習しています。その成果が出せました。

種目別結果

ゲートボール	優勝	嵩山校区
	準優勝	玉川校区
	第3位	老津校区
ペタンク	優勝	賀茂校区
	準優勝	細谷校区
	第3位	津田校区
グラウンド・ゴルフ	優勝	野依校区
	準優勝	幸校区
	第3位	下地校区



ゆたかクラブ豊橋への 期待を実感

ゆたかクラブ豊橋・豊橋市老人クラブ連合会
会長 金田 好正

新年を迎え、早くもひと月が経過いたしました。皆さまいかがお過ごしでしょうか。暦の上では立春を迎えたとはいえ、まだまだ厳しい寒さが続きますが、日頃から元気に活動されて

いるゆたかクラブ豊橋会員の皆さまにおかれましては、お変わりなく毎日をご過ごされていること存じます。

さて、老人クラブは衰退しているといわれて久し

せんでした。ただ、超高齢社会を迎えた現在、高齢者が高齢者を支える社会づくりが急務となっており、生きがいづくりやボランティア活動など、地域で活動する老人クラブの存在意義が

高まっていることは確かです。実際に、さまざまな会議に出席すると、行政や地域の皆さまから、老人クラブが必要だというご期待の声をいただくことが多く、老人クラブに対する周囲の見方が少し変わってきたと実感しております。

私自身、この年齢になっても新しい発見があることや、仲間ができるということに感謝する毎日ですが、これからもこの仲間の輪を

広げ、皆さまと一緒に活動してゆたかクラブ豊橋の活動を盛り上げていきたいと思っております。皆さまにおかれましては、お互いに楽しく元気に活動していこうではありませんか。

最後になりますが、平成 25 年度より 4 年間、本当に多くの方が支えてくださり、大過なく会長職の任期を務め上げることができましたこと、心より厚く御礼申し上げます。

第 53 回豊橋市高齢者福祉大会



挨拶する佐原市長

8 月 24 日、豊橋市公会堂において第 53 回豊橋市高齢者福祉大会が開催されました。

第 1 部の式典は、今川智嗣副会長の開会のことばで開幕しました。国歌斉唱、物故者への黙とうに続き、佐原光一市長から「ダイヤモンド婚・金婚を迎えられた皆さまは 60 年あるいは 50 年、ご夫婦が手を携え、様々な困難をともに乗り越える

ことで絆を深め、本日の節目を迎えられたこと存じます。本当におめでとうございませう。皆さまの長年のご貢献が現在の日本をつくってくださった。感謝申し上げます。また、金田好正会長からも挨拶があり、「私たち老人クラブ会員は、肉体的にも精神的にも健康で過ごすことに留意し、社会貢献を果たすよう努めなければならぬ」と思っています。互いに支え合う関係を築くことで、力強い絆が生まれます。高齢者がいつまでも社会の一員として必要とさ

れるよう努力を続けていきたいと思います」と呼びかけました。

その後の顕彰では、平成 7 年より現在に至るまで、総合老人ホームつつじ荘でボランティア活動を続けられている宮野和夫さんに、老人福祉事業功労者として感謝状が贈られました。



感謝状の授与

続いて、結婚 60 周年を迎えられたご夫婦 59 組と、結婚 50 周年を迎えられたご夫婦 166 組に対し祝詞の贈呈が行われました。代表として、駒形町の兵藤信行さん・千恵子さんご夫婦にダイヤモンド婚祝詞、富士見台の鈴木正宏さん・久子さんご夫婦に金婚祝詞がそれ



ダイヤモンド婚祝詞の贈呈

ぞれ授与されました。また、坂柳泰光市議会議員と渡会克明県議会議員から受賞された皆さんに祝辞が寄せられました。

この後、恒例の「思い出スライド」上映が行われました。東京オリンピックや新幹線開通、大阪万博、オイルショックなど全国的な出来事とともに、豊橋駅舎、牟呂用水での水あそび、新幹線乗り入れ、豊川用水完成、豊橋ステーションビル開業など、豊橋市の変遷をたどる画像を紹介しました。

最後に、藤城恒介副会長による「大会宣言」が満場

の拍手で承認され、第 1 部が終了しました。

第 2 部では、花男子による花贈りパフォーマンスが行われました。3 組のご夫婦が登場し、ご主人から奥さまへ、日頃の感謝の言葉を添えて花束が手渡されました。会場が感動に包まれるなか、鈴木和男副会長が、閉会のことばを述べ、大会は大盛会の内に閉幕しました。



花贈りパフォーマンスの様子



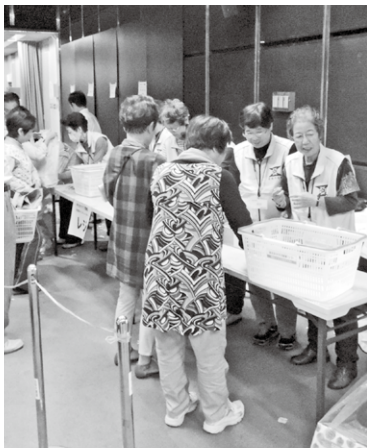
第25回女性部 チャリティーバザーに参加して

女性部副部長 野口八重子

平成28年10月26日から28日までの3日間、ゆたかクラブ豊橋女性部のチャリティーバザーが豊橋市民文化会館、リハールサル室で開催されました。前日は雨模様で心配されましたが、当日は晴天に恵まれ、暖かな日になりました。たくさんの方に足を運んでいただくことがで

きました。毎年のことですが、開始の1時間前から開場を待つお客さんの行列には驚きました。私たちも準備作業に追われ、寄付品の整理や役割分担で汗を流し、スタッフ一同は大忙しでした。今年も一番人気の商品はタオル、洗剤、食品です。砂糖、お茶、のりがあつという間に売れてしまいました。やはり生活の必需品は皆さまには人気があります。私たちスタッフは、各

校区で夏の暑い時期から会員さんの寄付品集めに始まり、回収後の仕分け、会場設営、販売、応対と活動してまいりました。バザーを通して、女性部がひとつになり強い絆ができたことに、今は感動しています。バザーで出会ったお客さまの喜ぶ姿や笑顔も、とても励みとなりました。これからも女性部は一つとなつて社会福祉事業に寄与する



ことを目標にして、いつまでも活動できることを願っています。今後とも皆さまのご理解、ご協力、そしてご支援をよろしくお願いいたします。



第39回趣味の演芸大会開催について

生きがい事業推進部長 藤村 増男

平成28年10月27日の開催日は快晴に恵まれて、早朝より会館前のホールには多数の人が並んで開場を待っておりまして。午前9時30分には幕が開き、ゆたかクラブ豊橋(豊橋市老人クラブ連合会)金田会長の開会のあいさつが終わり、演芸大会がはじまりました。

今回は34組444名の方が出場し、皆さんは日頃の練習の成果を十分発揮され、会場をわかせました。中でも健康体操では観客と一緒に丁寧に指導をしながら楽しく体操をし、また歌謡曲では、華やかな舞台上で会場が盛り上がりました。

昼の休憩に入り、今回も歌謡曲と民謡の2組が熱心に練習して、本番に備えておりました。午後の出演者で歌謡曲の種目では衣装もカラフルで、踊りながらテンポの良い曲を歌っていました。

なお、出場の皆さんは各



組とも細かいところまで気を配り熱演し、すばらしい1日でした。また、出演本番前に緊張しながらも、出番を待っている姿が印象的でした。裏方のスタッフに出演者の多数の方から激励の声をかけていただき、大変うれしく思いました。今回は第40回の節目になり、より多くの方が参加していただけますよう期待しております。

第48回趣味の作品展

広報文化部長 小山 正博

10月26日(水)〜28日(金)にわたり、豊橋市民文化会館2階展示室において、趣味の作品展が開催されました。絵画・絵手紙・写真・書道・水墨画・華道・設楽町の作品なども含めて254点が出品されました。開催3日間の入場者数は、



445名でした。昨年度より137名少ない人数でした。今年度は行燈の出品が昨年度より多く、展示室はにぎやかな彩りでした。また、写真の作品が前回に比べて多かったです。アングルの中に納まる対象が、撮影する人の心を反映するのでしょうか、それぞれの作品に心を感じました。絵手紙に添えられた文も素敵でした。絵にふさわしい言葉が書かれていて、書いているうちに、浮かんだ言葉なのでしょう。作者の豊かな心が見えてくるようでした。

各種スポーツ大会結果報告

第4回 富安貞夫杯 ゴルフ大会

◎日 時 平成28年11月22日(火)
◎場 所 新城カントリー倶楽部
◎参加数 117名



競技のようす



優勝した高井保次さん

順位	氏 名（校区名）
優 勝	高井 保次（杉山）
準優勝	中谷 功（松葉）
第3位	藤井 義徳（植田）

〈ドラゴン賞〉

北コース6番	平尾 敏子(大村)、今泉 勇(杉山)
東コース9番	藤井 義徳(植田)、藤山 島子(高師)
南コース3番	小柳津直彦(西郷)、平河 伸允(老津)

〈ニアピン賞〉

北コース3番	尾崎 行雄(谷川)、高井 保次(杉山)
東コース2番	妹尾 新生(大清水)、梅沢 修治(吉田方)
南コース4番	藤山 虎雄(高師)、山本 英司(大崎)

※他にも、飛び賞(10位ごと)、ブービー賞、お楽しみ賞を贈呈いたしました。

第4回 ボウリング大会

◎日 時 平成28年12月14日(水)
◎場 所 岩屋キャノンボウル
◎参加数 145名（29チーム）



団体の部で優勝した富士見Aチーム
昨年の優勝スコアを
200近く上回る
好成績でした!



個人の部で優勝した
今野さん(左)と
小林さん(右)

〈団体の部〉

順位	チーム名
優 勝	富士見A
準優勝	谷川B
第3位	吉田方A

〈個人の部／男子〉

順位	氏 名（校区名）	スコア
優 勝	今野 文夫（ 幸 ）	360
準優勝	鈴木 正宏（富士見）	349
第3位	伊藤 里司（谷 川）	349

〈個人の部／女子〉

順位	氏 名（校区名）	スコア
優 勝	小林 勝子（吉田方）	323
準優勝	堀田 伸子（吉田方）	313
第3位	内藤 桂子（大清水）	308

※上記の賞以外に、飛び賞(10位ごと)、ブービー賞を贈呈いたしました。

第18回 ペタンク大会

◎日 時 平成28年9月27日(火)
◎場 所 豊橋市陸上競技場
◎参加数 132名（44チーム）



競技中のようす



優勝した福岡Aチーム

順位	チーム名	順位	チーム名
優 勝	福岡Aチーム	第5位	細谷チーム
準優勝	老津Dチーム	第6位	杉山Bチーム
第3位	老津Cチーム	第7位	高豊Bチーム
第4位	小沢Aチーム	第8位	花田Cチーム

第40回 ゲートボール大会

◎日 時 平成28年10月5日(水)
◎場 所 豊橋市陸上競技場
◎参加数 92名（15チーム）



競技中のようす



優勝したつつじが丘チーム

順位	チーム名
優 勝	つつじが丘チーム
準優勝	大村チーム
第3位	高豊チーム、吉田方チーム

第18回 グラウンド・ゴルフ大会

◎日 時 平成28年11月9日(水)
◎場 所 豊橋球場
◎参加数 約580名



競技のようす



総合優勝した
丸地さん(右)と
宇佐美さん(左)

総合優勝	男子の部	丸地 清
	女子の部	宇佐美すみ子

順位	男子Aブロック(スコア)	男子Bブロック(スコア)
優 勝	野村 昌利(31)	丸地 清(33)
準優勝	兵藤 昌幸(32)	神谷 智(35)
第3位	伊藤 高次(32)	村田 英男(38)

順位	女子Aブロック(スコア)	女子Bブロック(スコア)
優 勝	宇佐美すみ子(33)	大道ケイ子(34)
準優勝	仲井美代子(33)	赤松津八子(34)
第3位	田辺 香(39)	吉岡 悦子(35)

老人クラブリーダー研修会に参加して

市老連会計 戸鹿島はつ子

平成28年度東海・北陸ブロック老人クラブリーダー研修会が6月30日(休)から7月1日(金)までの2日間にわたり、福井県あわら市で行われました。愛知県から30名の参加でした。ゆたかクラブ豊橋からは野田女性部副部長と資料にもなっている勉強会を兼ねた活動の一環として参加しました。

と私と2名の参加でした。豊橋から女性リーダー2名の参加があったことはすばらしいとお話があり、うれしく思いました。研修内容としては、地域支援活動、高齢者の詐欺被害防止など、

会をしてまいりました。ゆたかクラブ豊橋も同じ目的をもって活動しています。事例発表では、名古屋老人クラブ会長からは行政の協力を得て講座やイベントの開催などのお話がありました。日進ク

山クラブ会長からはサークル活動で活性化している、岐阜クラブ会長からは未設置地域に新しい老人クラブを作ろうなどの事例発表がありました。アトラクションは、北湯古謡どつしやどつしやと三

紹介、伊勢クラブ会長からは伊勢方言かるたを広めよう、富

に女性部のご協力をいただいてクラブ活動をさらに盛り立てていきたいと思ひます。有意義な2日間でした。感謝いたします。



校区・単位クラブ活動

新川校区

「ウォーキング」は 新川老連恒例の行事

新川校区老人クラブ連合会 今泉 正弘

歩け歩けの行事「ウォーキング」は新川校区老人クラブ連合会恒例の行事です。毎年、10月下旬から11月上旬にかけて実施しています。

平成28年は、11月2日に、電車に乗って蒲郡市へ行きました。蒲郡駅から竹島水族館を目指して歩きました。1キロの道のりは、会話しながら歩けばアツという間の距離でした。水族館では、色鮮やかな魚、ふかふかと浮



かんでいる魚、水底でじっとしている魚、集団でトルネードしている魚など、さまざまな生態がみられ、飽きることありませんでした。中でも、よく訓練されたアシカシヨーは、大変おもしろく心が和みました。

12時に水族館を出たあとは、自由行動の時間です。竹島橋を渡って、竹島をひとめぐりする健脚グループ、海辺の文学記念館の洋間の椅子に腰かけ、雑談に花を咲かせるグループ、和室で抹茶をいたたきながら、静かなひとときを堪能するグループなど、思い思いに自由行動の時間を楽しみました。

日ごろは、自宅の周辺をウォーキングするのが普通ですが、鉄道など公共交通機関を利用して、ほんのちよつぱり足を延ばしたウォーキングなんていうのもいいですね。

ちなみに、平成27年は二川駅から歩いて「二川宿本陣」と「大岩寺」へ、平成26年は二川駅から歩いて「のんほいパーク」へ行きました。園長さんに園内をほくまなく案内していただきました。

前芝校区

第13回交通安全 高齢者自転車大会に参加して

前芝校区老人クラブ連合会 前田 恭

前芝校区老人クラブ連合会は、11月10日、名古屋国際展示場ポートメッセなごやで開催された見出しの大会に、ゆたかクラブ豊橋代表として参加しました。

6月下旬、愛知県交通安全協会豊橋支部の原さんから「ゆたかクラブ豊橋の代表として大会に参加してほしい」との要請がありました。これを受け、後日会長会議を開催し、協議の結果、全員一致で参加を決定しました。それから原さんの指導のもと、猛暑の中練習がスタートしました。10月になってからは石

原前芝町会長の尽力により大会と同様のコースを設定し、全員猛特訓を重ねた結果、当初に比し見違えるほど上達しました。

そして大会当日朝、応援団と共に会場入りしました。選手のみならず緊張の面持ちで大会開始を待っていました。大会開始後、いざ始めると全員が練習成果をいかになく発揮しました。応援団も声が枯れても、なお大きな声で最後まで応援しました。大会結果は「優勝」とまではいきませんでしたが、原さんから「本当に頑張っていただき、ご苦労さま



芦原校区

歴史探訪ウォーキング パート9 旧二川の歴史名所を訪ねる

芦原校区老人クラブ連合会 伊藤 公満

このシリーズは毎年実施して、6年目を迎えました。今回は11月9日開催。天候は

(風が強かったが)晴天。60名(男性28名、女性32名)が参加。渥美線・芦原駅にて臨時改札で乗車。校区内二つ目の高師駅からも乗車。福祉切符を活用。豊橋駅から乗り換えてJR東海道線で二川駅まで。駅前にて小林校区会長のあいさつ、観光協会のガイドさん3名の紹介。10時には駅前を出発。二川の旧東海道は車の通行が多いため、コースは脇道を通り安全第一を確保。いつものように、各クラブの会長さんが役割を分担。途中支障者の介護と食料運搬

を兼ねて車を伴走。



二川は歴史の探訪には事欠かず、事前にガイドの方と相談して、まず、大岩神明宮へ。神主さんも来てくれる。氏子3600余戸を数える豊橋市内屈指の大神を誇る社殿の前にて記念写真を撮影。次の大岩寺では本堂に上がり、岩屋観音の重文のレプリカ、歴史を知る数々の写真・品々など見学。住職夫人から説明を受ける。また、当寺は宝塚歌劇場で解散。

JR乗り換えで複雑なコースを加えましたが、皆さんが連携し迷いもなく、無事に終了することができました。楽しい一日でした。皆さんご協力ありがとうございました。

「すみれの花咲く頃」の作詞者、演出家、白井鐵造氏の菩提寺でもある。次は、小淵志ち糸徳製糸場の跡地でもある二川地区市民館にて休憩と二川の歴史を拝聴。次は二川宿本陣にて学芸員からの説明と資料館の見学。終わりに平成27年11月から公開を始めた商家「駒屋」の見学。2人の説明者による屋敷内の説明後、2時にその

富士見校区

そのとき、あなたはこうする

ニューレイク第二クラブ 鈴木 正宏

私たち富士見校区でニューレイクに加入している75歳以上の割合は70%、74歳以下は30%となっています。このままいけば、ますます高齢率は上がっていきます。これから先、どのように意思伝達をしたら良いのか悩むところです。豊橋市全体で高齢者におけるゆたかクラブ豊橋への加入率は15%ですが、富士見校区は15%にも届かず、新規加入がままならないのが現状です。「世界の山ちゃん」いわく、

立派な変人たれ、と。変人とは、人と違うことを恐れず変化すること。変化とは成長です。一つのクラブ内で、いくつものグループがあるのではなく、まとまってやることで団結し、次につながると思うし、仲間との交流、そして楽しくプレーするためには今の殻を破り、他のクラブとの交流に目を向けてはいかがでしょうか？ 結果は行動から、行動は意識にあり、その意識を一つ持つことで必ず何かが変わるはずですよ。

一方で知り合い数人に加人を勧めたところ、異口同音で「自分はまだそんな歳ではない」とか、「どんな魅力がありますか?」と問われ、明快な返事ができないのが現実です。そんな反省から「私たち富士見と言えば〇〇、××と言えは富士見」と、自信の持てる何かを求めていると思います。

ゆたかクラブ豊橋の行事で近い将来、静かなブームが予想される「吹き矢」、その魅力ある「健康吹き矢」に注目してはいかがでしょうか？ 自分自身も人のやらないことで行動力のある会員を目指して頑張りたいと思います。

校区・単位クラブ活動

賀茂校区

ウォーキング開催に想う

第一葵会 田中 将泰

賀茂校区薬会主催のウォーキングが10月9日、市指定の「健康の道」で会員60名の参加を得て開催。今回は道の一部4キロを2時間弱で歩きまし

する人もなく目的地に到着。あらかじめお願いしてありました体操の先生からストレッチの教示を受け昼食。ゲームをして終了となりました。紙面の関係で大雑把になりましたが、事故、けがもなく終わることができました。

ウォーキングは生活習慣病、また全国に500万人と言われている認知症の予防にも良いといわれております。また、今盛んに騒がれている南海トラフに起因する大地震発生の際は甚大な被害が想定

され、さらに今少子高齢化が進む中、元気な高齢者が増えております。そのような中、ひとたび被害が発生すると行政も手が回らない状況、ましてや当校区のような遠隔地ではさらに深刻です。過日の熊本地震の報道でも地域住民同士の助け合いで何名もの命が助かったとの報道がなされました。今回のウォーキング、短時間の活動ではありましたが、健康維持のため、そして地域の連携を深めるものとして意味のあったものと思えます。このような小さな活動であっても積み重ねること、そして生きたものにするのが大切。そんな想いを感じたウォーキングでした。

高師校区

演芸大会に参加して

浜道長生会 長谷川喜美子

浜道長生会は、逆戈神社の清掃を月1回自治会の方たちと交互に行っています。今年

の拍手も多く楽しかったです。スコットランド・バグパイプの演奏の方は、日本の音楽唱歌および世界の音楽と美しい音色で楽しませてくれました。

他3名の詩舞で「富士山」を演技、剣の立ち回りも堂々とした70代80代の方たちの勇姿に、本当に感動しました。舞踊の「龍馬残影」という美しい立ち振る舞いも見事でした。カラオケの男女デュエット「麦畑」という曲も、歌と手振りの表現でお客さまから

私たちのコーラスも町内の花井先生をお迎えして参加することになりました。男性、女性、13名で結成。月1回の練習で始めたばかりです。昔懐かしい唱歌です。先生の教えを守り、精いっぱい歌います。

当日の服装は男女ともに上は白、下は黒と、世間並みにしました。何だか緊張して大丈夫かなと心配になりました。いつもの練習の通り腹に



力を入れて、唱歌の始まりです。最初は「雪」。『雪やこんこ、霰やこんこ』と野山は美しい雪景色で、犬は喜び庭駆け回り、猫はこたつで丸くなる、と歌われていますが、現在は温暖化のせいか、温度差の違いで老人には厳しく思います。2曲目は「紅葉」。11月になれば鳳来山の景色も赤や黄に染まるの思い出しながら歌い、3曲目は「故郷」で、誰にでもある懐かしい山や川、友の顔。歌は友、日々の暮らしの中に唱歌を口ずさみながら老後を生きていきます。

花田校区

ウォーキングで赤岩寺へ

百度町福寿会 万年 富也

11月24日、花田校区老人クラブ連合会の行事として主催し、ウォーキング大会を実施しました。

赤岩寺は、市内多米町にあつて、1300年近い歴史を持つた由緒あるお寺だそうです。「知る人ぞ知る、身近で歩いても行けるオールシーズン楽しめる名所」としておすすめのところ

園へ集合し、各町内ごとにまとまってリーダーが先導して一路目的地に向け出発。普段でもあまり利用しない市内電車に乗って、終点の赤岩口まで行き、ウォーキングで約5キロ程度先の赤岩寺の山門を目指しました。道中は景色を眺めたり、知人とおしゃべりしたりで、有意義なひとときでした。

当日は、朝からあいにくの小雨が降る天気で残念でしたが、希望していたメンバーは全員（39名）が元気に大塚公



帰路は午後1時に出発して豊橋駅まで帰り、全員で反省会を開き、談笑のあと、全員何事もなく無事に解散でき、感謝の一日でした。

幸校区

祝優勝！ 愛知県老人グラウンド・ゴルフ大会

若松双葉会 早川 輝男



平成28年10月8日、大府市のあいち健康の森公園にて、第12回愛知県老人クラブグラウンド・ゴルフ大会が開催されました。愛知県内の各市町村から多数のチームが参加するこの大会に、豊橋市の代表として幸校区若松双葉会から早川輝男・鈴木政雄・白井三郎・野村昌利・依田洵・本多勝廣（敬称略）の6名が出場しました。

当日の朝、豊橋を出発する時には小雨が降っていましたが、会場に近づくと雨も上がり、晴れ間がのぞくようになりました。

午前10時に始まった試合は、お昼過ぎに決着し、私たちのチームは見事優勝を果たしました。また、個人の部においても、本多勝廣さんが見事優勝し、団体の部とともにダブルの栄冠に輝きました。

東田校区

「健康吹き矢クラブ」の設立について

仁連木・東郷寿会 杉浦 利幸

この会は、平成28年4月に仁連木・東郷寿会の会員を主体に、仁連木老人福祉センターのアドバイスも受けながら、ゆたかクラブ豊橋の趣味の教室として登録し、認可を受ける中で設立したもので

設立に当たっては、寿会の高橋会長を代表として例会などで呼び掛けを行ったところ、多数の方々からクラブ入会の希望があり、発足の運びとなりました。その後、会員数も徐々に増えているところ

であります。クラブ設立後、仁連木老人福祉センターを練習会場として、毎月第1、第3土曜日の

午後を練習日とし、毎回いろいろ言いながら吹き矢を楽しんでいます。

また、平成28年8月には、練習の成果を試す機会として、クラブ独自の大会を開催することができました。大会参加者は、次回の大会に向けて練習に力が入っているところ

この吹き矢は、誰にでも簡単にできるゲームで、自然に腹式呼吸ができ、精神統一をすることにより体のバランスも良くなり、ストレスの解消やいろいろな病気の改善に役立ち、また、身体全体の健康維持につながると言われています。私も吹き矢を始めて約



1年になりますが、体調が良くなったような感じがします。いずれにしても、吹き矢を通じて会員相互の親睦と交流の輪が広がり、健康長寿の素晴らしい人生を送る一端となるよう願っているところであります。

校区・単位クラブ活動



年を重ねても知らないことが多々あり、良いことを学んだ時は得した気分になります。誘われて一会員にしていた老人クラブも、その一つです。皆さまに笑顔で迎えられ、優しく親切にしてください、たくさん驚きに会いました。

東田元町寿会 高柳 致子
第一は皆さんお元気で、颯爽としてみえることでした。お見舞いを受けられるお年の方々が老人福祉センターで開かれる教室で学ばれた各種の技、カラオケ教室での歌謡曲や演歌、その他日本舞踊、大正琴、詩吟等々を携えて、逆に見舞いに出張されます。センターでは、いろいろな講座、映画会、レクリエーション、自慢のものの発表会などが開かれ、会員の方たちが参加され楽しんでみえます。将棋や碁も打つことができ、また、くつろぐ場所ではお茶も用意され、昼には入浴することもでき、至れり尽くせりです。

そして、月1回の例会にはタクシーに乗り合わせてでも出席され、何よりも永年働いてこられた勲章でもある足腰の不自由になられた方たちが気兼ねなく集い語ることができるのです。高齢者になって初めて知る喜び、悲しみ、辛さを同じ経験してきたからこそ通じ分かり合え、喜びは倍になり、悲しみは半減し、心が軽くなる、高齢者にとって、とても貴重な場所・居場所であることを教わりました。会に入れていただけたから多くのことを学び、勇気・元気をいただきました。これを一人でも多くの方に知っていただき、入会してください。方々たちに、学んだ素晴らしい笑顔で「老人クラブへようこそ」とお迎えしたく思います。

東田校区

老人クラブへようこそ

東田元町寿会 高柳 致子

幸校区
歩み

牧野町長寿会 西島 昭雄

私たち牧野町長寿会は、昭和53年に結成され、現在に至っております。結成時の会員数は、50数名であったそうです。現在は男性64名、女性74名、総勢138名の組織に成長しました。

こんにちに至るまでには、時代の変化やさまざまな要因により会員数の減少もあったり、組織存続が心配された時期もありました。しかし、当時の役員の方の献身的な努力と町自治会長の協力もいただきながら、徐々に会員が増えてきました。現在の会員数を



達成することができたことは、現役員として感謝申し上げます。役員の中には会長職を14年継続された方もおられ、敬服する次第で

す。また、現在では実現不可能かと思われる2泊3日の会員旅行もあった由、驚きに値します。
現在の長寿会の年間の活動としては、毎月の月例会、出前講座、趣味の教室、交通立ち番、あいさつ運動、旅行などを含めたレクリエーション活動など。また、近年は町自治会、校区自治会行事への参加も多くなっています。今後、さらに少子高齢化が進む中、私たちの年代が果たす役割がより多く求められると思います。これからも地元で地域での関わりを継続し、私たち長寿会のモットーである明るく、楽しく、元氣よくを大切に、ゆっくり歩んでいければと願う次第です。

飯村校区

生涯元氣シニアのクラブを目指して

東山シルバークラブⅡ 須崎 守康

当クラブの活動の特色は、多彩なメニューを揃えたサークル活動です。カラオケ・グラウンドゴルフ・ピンポン・習字・絵手紙・写真・映画・何でもカフェ・川柳・健康教室・ホップの会・藍染めなどです。内の2サークルについて。



デザインか値段で悩む金売り場
米離れ出番待ってる炊飯器
伊藤 迪子
吉見 悦子

◆ ◆ ◆
「ホップの会」

少々のアルコールを潤滑油にして談論風発気の向くままに政治、社会、人生、趣味などを語り合います。時には旅の土産、手作りのつまみで話題が盛り上がります。高級居酒屋の雰囲気です。

◆ ◆ ◆
「川柳で遊ぶ」(その作品から)

夜空見て亡き人達の星探す
大桑 令子
星仰ぎ小さな自分知った夜
日野 義久
彦星と織姫いつか倦怠期
佐藤 幸子
手料理は地産地消の五つ星
須崎 洋子
古里の地震へ豪雨容赦せず
谷村 文子
かきこそと囁きながら散る紅葉
丸山 静
雨上り草に負けじとムチを打つ
中村 北麿



そこではゆたかクラブ豊橋の活性化、会員の増大についてもよく話題になります。要約してみると…

①他のクラブとの交流、情報交換

②市内全てのシニア世代にとって魅力あるクラブにするための公開協議の場作り

③本部役員の単位クラブ巡回訪問と、総会への一般会員の参加発言

今後の活動方針の中で、ぜひ取り入れていただきたい。他の単位クラブの意見を期待します。

会員随想

ロシア旅行記

老津校区
第七喜楽会

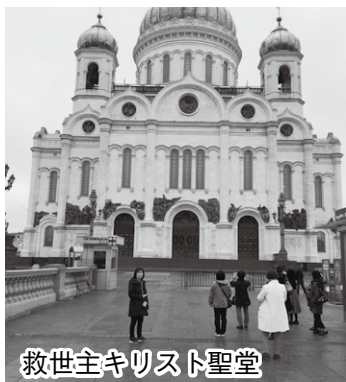
鈴木 純夫

私は旅を楽しんでいる。紀行文「奥の細道」が知られているが、その中に「行き交う年もまた旅人なり」の言葉があった。

今、よわい70を過ぎ、辺りを見回せば昔の風情はなくなっており、松林の面影もない。ここは何処だ、南の島か？ 沖縄は昔から松がなかったように思っている。この地も経過年月により景色は変わったのである。



エルミタージュ劇場
『白鳥の湖』上演前1時間



救世主キリスト聖堂



ウラジーミルの
ウスペンスキー寺院

さて、このたび、縁があつてロシアに行くことになった。平和が続いている今だから多くの所へ旅ができるが、私が生まれた頃では考えられない旅先である。

愛知の飛行場は世界への窓が狭いので、成田からの出発である。ロシアは広い、ジェット機で5時間飛んでも平原

の景色が変わらない。やっとモスクワに到着した。赤の広場やクレムリンを見学したが、クレムリンはロシアのあちこちにあるらしい。日本語で言えば「城塞」であろうか？

ロシアは教会だらけの国で、いまでも宗教色が強く、信仰心のあつさを感じた。気が

になったのはイスラムのモスクのような丸い塔のある教会であつた。

ロシア文字が面白い。「アルファベットの鏡文字のようだ」とガイドに言ったら、「アルファベットのギリシャ文字であなたが言っているのはローマ字です。ロシア語はキリル文字でローマ字より古いものです」とのことだつた。

百聞は一見にしかず、知識が吸収できた旅であつた。

遺愛集を読んで

飯村校区
第二飯寿会

西川 文子

本の帯封に「たつたひと言のほめ言葉が私の心を救い私の人生を変えた」、これは獄中の歌人、ペンネーム島秋人の言葉です。

彼は人を殺め死刑囚の身となり、刑に服する日まで短歌をおぼえ毎日新聞の歌壇に投稿し、窪田空穂先生が選者で数百首の短歌。毎日歌壇賞、優作を頂いた。

窪田空穂先生生序の中に、「私は秋人君に面接したことはなく作歌を通して想像するのみ、三疊敷の独房で金網をめぐらし窓はすりガラス、外部は見えない高い塀でかきられているただ命あるが故に生き

ている、という程度のものでいい。悪事の反省となり悔悟となり死をもつて謝罪となり一日一日の短い生命の愛惜となり、そして作歌となつてきたのである。これら心境の状態を遺愛集の歌はつづさに示している。歌は外界からの刺激がないと作りにくいものであることは常識となつている。秋人君にはその刺激が極めて少ない。それにもかかわらず実に多くの歌を詠んでいる。これは胸中の思念がその刺激となつているからのことで、その思念のいかに多いかを思わせられる。一言でいえば、私には悲しむべき人なのであるが、悲しみのない人はない。異例な人として、悲しいのである」と、結んでいきます。

また、多数の篤志家、無報酬で私選弁護人が協力してこ

の遺愛集が出来上がった。島秋人君も手にしたかったようだけれども、被害者の遺族の方に申し訳ないと刊行は没後一カ月遅れて出来上がった。私も読むたびに胸がいっぱいになります。

最後の歌。

この澄めるころ在るとは識らず来て
刑死の明日に迫る夜温し

島 秋人

（昭和42年11月2日）



かかりつけ医

栄校区
小松町長寿会

伊藤 信平

若い頃、私は胃潰瘍で市民病院の厄介になっていた。服薬を続けながら時々レントゲンと胃力メラで経過を見ていた。しかし、私の不摂生もあつてか、なかなか良くな

らなかった。その間、胃力メラを飲むこと数回であつた。その後、近くに他市の公立病院で経験を積んだ内科医のF先生が開業されたので訪れてみた。その際、他の患者に先生の話す声が聞こえてきた。胃力メラの検診のよう

で先生は「あなたが飲むのでは

なく、私が飲ませてあげますから心配ありませんよ」と言つていた。誰しも力メラを飲むとなると、初めての人は心配し、緊張もする。しかし、このような優しい話かけの言葉は、患者の心をほぐしリラックスさせてくれると思う。

私もこの先生に自分の胃を託そうと決めた。そして最初はやはりレントゲンと胃力メラ検査であつた。診断は前の

病院の時とほぼ同じであつたが、レントゲン写真の枚数が多いように思えた。これは後の説明を聞いて訳が分かつた。先生の話では、私の胃はしわが多く、それも深いから様子が見にくいといふことであり、初めて診られる医師は必ず胃力メラ検査になるでし

よう、とのことであつた。以後、F先生のもと年1回の検診では、レントゲン検査のみで済んでいるが、結果は今日まで毎回確信に満ちた先生の声で「異常ありません」とのこと

で、私は大いに安心して

いる。私の胃の特徴を十分に把握されているF先生は、私のかかりつけ医である。



トマムとは何

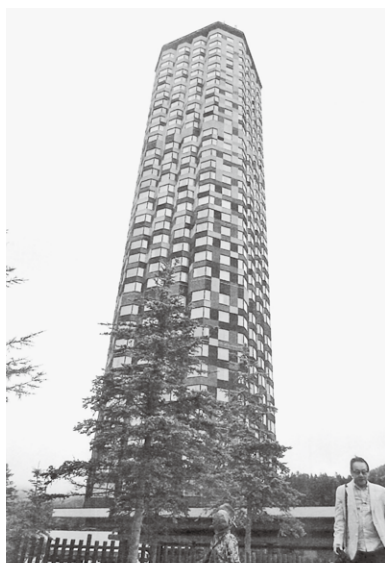
花田校区
西羽田町ゆたかクラブ

羽田 光江

このたび、北海道のトマムへ行くことができた。出発前聞いたことのない名をいろいろ調べる

と、トマムは地名で富良野に近い占冠村の山岳地

でスキー場である所を星野リゾートが夏場も観光できるように開発した。山上で雲海を見るすばらしい地で、ゴンドラで客を山上に運ぶ。高速道路ができたことで、一層便利になつた。



星野リゾートと言えは青森古牧温泉から福島アルツ磐梯、軽井沢、八ヶ岳、京都、伊東など。昨年東京の大手町に日本旅館を開業したことで話題になった。

私たちが行った時は霧でどんよりしていて、朝日のさす雲海とまではならなかったが、早朝の山頂で味わう冷やかさ、スーと澄んだ肌に刺す冷気、暗い中を徐々に明るくなる景色や足元を見ながら大勢の人と散策し、また、簡易な店で熱い飲み物やパンを食べる。中には絵葉書を求めて投函するポストもあり、トマム山頂駅のスタンプが押されて全国に郵送されるシステムだ。テラスは展望台になつていて、外国人も大勢いて、子供たちも目立つ人気スポットなのだ。

ホテルは多角形の高層タワーが2本、37階建てでこの屋上でも雲海が経験できる。温泉プール、レストラン、ゴルフコース、リゾートセンター、教会などあり、エリア内をバスが往復して



キッズコーナー他、至れり尽くせりだ。こんな広々とした施設の観光地は珍しく、北海道の広大な敷地の中のリゾート地といふことで実に感じさせられた。何日も滞在して、もう一度雲海を見たいと思う。でも、すばらしい体験であつた。

小松菜一株

前芝校区
ふたば会

北河 明子

10月29日、30日、例年のように校区の芸能作品発表会が行われました。皆さんがおの、さまざまな作品を展示したり、自慢の歌声を披露しました。それぞれの活動が終わり、私たちも展示した作品を搬出して、市民館前の階段とスロープに囲まれた、わずかなスペースのミニミニ農園の前に、前芝自治会長さんが立っていました。

青い鳥

栄校区
弥生町大空会

小山 正博

青い鳥。メーテルリンクの言わんとしたこと。幸せは外にはなく、身近にあると。昭和30年代に育った時代の者からみると、今は電化生活や立派な住まい、大人の数だけ車を所有する時代になったのに、いじめに追い込まれて自殺する事件が後を絶たない。子供たちは誰にいじめを学ぶのだろう。社会環境が。貧しかった時の方が、みんな仲が良かった。けんかもあつからかんとしていた。豊かな時代の代償がしら、ストレスに見舞われて、余裕を失っている。物事に従事している限り、成果を出す、生産性の向上、利益の追求と追いまくられる生活環境。物質にこだわらず、のんびりする生活にたどり着いたらと思う

「皆さん、小松菜を各自一株、抜いて持ち帰ってください」と呼びかけておられました。洋裁教室のファッションモデルだった方々も、絵手紙教室のアーティストたちも急に主婦の顔に戻り、一斉に小松菜めがけて集まってききました。「一株だけです」「友達の分もいいですか」「ためです」「各自が自分で抜いた一株だけです」。私は夕食におひたしにさせていただきました。シヤキシヤキして、とてもおいしかったです。葉が青々として厚く、茎が太くて立派なおいしい作品でした。ちょうど、この頃は葉もの

ミナナム

牟呂・汐田校区
坂津松寿会

横田 久枝

のだが。お金のいる時代になったものだと思う。それでも、お金は要らない。心の豊かさが欲しい。心の豊かさを手に入れる方法は？ お金や物質は虚しいもの、と思いを強くして自らの心の内側に心を配る。仏教の神髄は、心の安らぎ。比べず、ねたまず、欲しがらず、さとりとしている日々。そういう境地に至っても達観といえるのか、それが射ているのか。独りよがりかと不安がよぎる。悟りにはほど遠い。腹を立てず、ニコニコして笑う回数が多ければよしとする。

大きなことよりも、さいいなことに喜びを感じる、命の張り。青い鳥は手のひらか、心の中に住むのでしょうか。



野菜が端境期だったのでしょ、うか、スーパ―ではレタスが1玉400円もの高値でした。タイミングよく、とてもありがたくて、特別な味がしました。すでにアクティイ、22で紹介された前芝力フエも自治会長さんがお世話してくださっています。ここでも空き家の庭前にネギの苗を植えてくださいました。先日そこで、クリスマスカード作りを楽しんできました。次に前芝力フエに行く頃には、あのネギたちは、食べごろになっているかもしれません。

戦争にまつわる私の体験(抄)5

二川南校区
二川南町寿会
山本 民男

◆軍部豊橋

豊橋には軍需施設が多く、軍都と呼ばれておりました。歩兵部隊(現吉田城址・豊城中・市役所)、工兵隊(豊商とその南)、騎兵部隊(南郵便局付近)、陸軍病院(中野町)、陸軍病院分院(南米駅の東)、陸軍予備士官学校(愛大、時習館)、陸軍教導学校

地域で頑張ろう

岩田校区
北岩田区老人クラブふたば会

小椋かつ子

最近災害テロとテレビに新聞と暗いニュースばかりだ。日本はまたまた世界に誇る治安の良さだ。それでも世界中でテロ殺人と暗いニュースばかりで悲しい。日本は島国だからと安心できない。私も子供の頃、人から道を聞かれたら親切にと教えられ育った。今はへたに学校帰りの子供にお帰りと声を掛けても知らんぷり。核家族で小学生から携帯ポケモンGO、あっちでもこっちでも夜中まで公園を徘徊。世の中どうなっている。自由にならなければ親が子を、子が親を殺す。働かなくてお金がなければ、人をだましてまでお金を手に入れようとする。昔のように不便でもゲームのない時代が懐かしい。もって地域で「ミニニケ

しました。陸軍の清水飛行場、豊橋海軍航空隊(大崎島)古くは福岡小学校も昔の軍隊跡で、愛大公館は師団長官舎でした。豊橋工業高校も軍施設の跡地です。短い期間でしたが、二川に陸軍の大砲の試射場がありました。浅間山麓に発射場があり、1キロほど東に着弾点が存在しました。口径と射距離から歩兵砲か山砲だったと想像しています。これ以外にも軍需施設はあったかもしれません。



(次号に続く)

ーションをとって、よその子も叱れる時代になるといいわね。公園へ行けば子供はいない。これでは公園とは名ばかり。今は学歴社会で仕方ない。もう少し子供は公園で飛んだり跳ねたりしていれば、年寄りも自然に子供に目が向く。自然と社会の秩序も守られる。まず大人が働く姿を子供に見せ、見られて恥じない生活をする。そんな社会がくるといいわね。

〈追伸〉

みんな年をとる。孫に負けないように頑張ってポケない。人の悪口を言わない。家にいてあそこが痛い、ここが痛いとかチをいってものはじまらない。まず一歩外に出て老人クラブに入り、カラオケで大きな声を出しておしゃべりをしていけば、病氣の方が逃げていく。思い切って見学だけでも、待ってまーす。

会員文芸



俳句

■岩田校区

北岩田一区老人クラブふたば会
かたつむり戻るに戻れぬ道をつけ

小椋かつ子

■岩田校区 平岡区老人クラブ若竹会
碧天に締め飾る歳の暮

白井 善晴

■岩田校区 東岩田長寿会

秋日和亡夫の思い出めぐりくる

加藤カツエ

速費の蜥蜴眼に露の玉

千賀 芳彦

■豊校区 西岩田親睦クラブ

踏ん張りて今年も撞けり除夜の鐘

金田 英子



■幸校区 南松原寿会

庭の木々淋しげに鳴く蟬の声

伊藤富士子

■吉田方校区 若波会

歌ひ初め母の米寿に祝い酒

河合 昭子

■八町校区 旭第一寿会

秋深く紅葉ながめ行きたいよ

中村 恒道

■牛川校区 若宮町ことぶき会

生け垣に色を添えたる野菊かな

豊田 しげ

■大清水校区

大清水老人クラブ虹の会

口にふむむ宗祇の水や秋澄める

水野 せつ

■杉山校区 泉向山明日望会

孫嫁ぐ祝辞綴りし菊日和

花井 稔

秋祭りひとり太鼓を遠く聞き

井土 幸子

■杉山校区 高明日望会

草千里噴火の灰に埋まる秋

彦田 純子

鈴鉦の善女の声や秋の暮

竹内 澄子

秋風や揺らく心を誘い出す

中神佐和子

■飯村校区 第二飯寿会

竹林を薄く揺すりて初時雨

広中 雅子

大仏の微笑みかける冬日和

佐野 栄子

短歌

■岩田校区

北岩田一区老人クラブふたば会

母が娘に嫁に持たせし着物かな

簞笥の奥でたとう紙のまま

小椋かつ子

■岩田校区 北岩田三区福寿会

小鳥たち朱色に熟す柿見つけ

つぎつぎとくる鳴き声たてて

藤田ひな子

まんじゅしやげ火刑のごとく並びけり

初秋の空どこまでも青

伊藤みつよ

足痛みふさがちな我はげませし

感動の競技パラリンピック

大野 興子

刈り入れの済みし田の中白鷺と

鴉の群がオセロ遊びす

城 憲男

今日もまたグランドゴルフで顔会わす

生き生きとした老の友達

荒津 一男

■豊校区 西岩田親睦クラブ

高齢者のゼミに集ひて合唱す

手話も交へてララ・四季の歌

金田 英子

■幸校区 南松原寿会

幼子の思い出探し稲穂刈り

月の明りて夜道を帰り

伊藤富士子

孫と行く牛若伝説語りつつ

京鞍馬寺の木の根道かな

菅谷 益夫

数独の好きなわれにと新聞の

切り抜き集めくれし友あり

大橋 睦子

山人よいかなる罪を犯せしか

谷川岳に懺悔岩あり

金子 浩吉

■幸校区 牧野町長寿会

稲株は刈り取られても新芽だし

二番穂実りて風にゆれおり

宮田 建夫

■津田校区 西日進会

のどけしや山も里にも花幾重

色香漂う心地よきとも

笹野 君夫

■吉田方校区 若波会

雪合戦曾孫と遊ぶ我米寿

心はしやぎて足はよろめく

河合 昭子

昨晚の雨に誘はれどこからか

糸蜻蛉とびきて草にとまりぬ

横山 宣世

花好きの草引き人も見るわれも

咲きゐる花名うたふさまなる

丸山二三四

■吉田方校区 吉川男女の会

征きし人の武運祈りて千人旗

挑げゆきたる石巻の道

中村 芳江

■吉田方校区 菰口町寿会

四股踏んで家族の笑い独り占め

ガッツポーズの一歳の孫

杉浦尊香子

■東田校区 東雲町老人クラブ和友会

沈丁花玄関先ではのかに香る

春を感じてはなやぐ心

松田 陽子

■牟呂・汐田校区 坂津松寿会

唐突に締めの大役名指しされ

酒の勢いかりて声上ぐ

横田 久枝

■牛川校区 若宮町ことぶき会

嬉しさや誕生祝頂きて

幸福感ず定例会

豊田 しげ

■富士見校区

ニユーレイク第一クラブ

晩秋や老ゆる人生さびしさの

静かにき、入る鈴虫の声

早川 郁代



■多米校区 第一和来会

われもまたまねて牡丹の花植えて

父の面影しのびつつ見る

坪内 英子

■老津校区 老津喜楽会短歌教室

授かりし小春日和や雲流れ

子等の遊ぶ声天までとどけ

石田 初江

趣味の会いろいろやれば友ができ

楽しみふえてボケ防止かな

鈴木 元恵

秋の灯や机一つに顔二つ

ぼくも描こうかばあちゃんの顔

鈴木きみゑ

紅葉の山影映す河口湖

夜の更けるまでかたりつくせる

原田 玲子

むかご飯はじめて食べた喜びに

寿命が伸びたと笑顔広がる

柵木 早苗

道端にきれいに咲いた彼岸花

行き交う人の心とめり

彦坂 貞子

見たせば回りは総て女性なり

異端が混じる体操教室

伴 匡晃

百余歳の恩師尋ねし子は八十路

慈愛の笑顔に涙交えて

三浦 松代

■前芝校区 前芝校区短歌教室
「旅の友」の色彩やかな秋景色
探してひとりページ繰りゆく

中河 廸子

機内にて自ら折られしオリヅルに
平和を託すオバマ大統領

中島タエ子

娘らよりのカーデイガンなり二十年
出して蔵ひて蔵ひて出して

松下 正子

鮎とり舟にて花火を見むと豊川を
友らとゆきしふる里の夏

牧平 澄子

剪定のなされし庭の辺根元まで
光あまねし霜月の空

山本 幸代

奈良・京都修学旅行に孫がゆく
笑顔見たくてそつと手渡す

山口 正江

■大崎校区 大崎老人クラブ
彼岸花咲く時期海苔の胞子付けに
夢中になりしも遙かとなりぬ

近藤美代子

にこやかに迎えくれたる娘の舅
共に飲まんと九十五才を

田中さな江

軒先でチツチとさえずるつばめ達
婆のくしやみにおどろき逃げる

大塚 千代

療法師の優しさあふるるリハビリに
術後の痛み癒されて居り

神藤みち子

川柳

■岩田校区

北岩田一区老人クラブふたば会
老人会人生の財は友となり

小椋かつ子

■岩田校区 平岡区老人クラブ若竹会
熱燗や夜毎に旨し傘寿かな

白井 善晴



■岩田校区 東岩田長寿会
諭吉さん樋口野口と早変わり

千賀 芳彦

■津田校区 西日進会
初節句孫より燥ぐじじとばば

笹野 君夫

■吉田方校区 若波会
竹の子をさがせば孫の靴の下

河合 昭子

■中野校区 中野おあしす会
ケンカして妻の犬まで無愛想

彦坂 吉尚

■八町校区 旭第一寿会
同窓会昔の顔がなつかしい

中村 恒道

■東田校区 仁連木・東郷寿会
お題「努力」
苦しさを耐えて笑顔のワンマン賞

努力せずサプリに頼るダイエツト

板橋 章一

年とると努力我慢の日々が待ち

畠 正行

やりくりの努力の皺があっちこちに

大石 綾子

悔はなし努力で生きた人生だ

河合 正年

原発の違い易さが後アウト

田中 千江

努力して年には勝てぬ顔のしわ

藤井 克代

おそ咲きで皆の後から老の汗

後藤マサ子

天才はいつも努力のできる人

榎島 謙一

努力しているが減らない我が重み

佐原 久代

物を見て作る努力に今がある

鈴木いと子

生きがいも努力によって築かれる

山本 健

■二川校区 二川のんほいクラブ
課題「誘う」
老人会誘ってみたが断られ

三浦 常子

誘い水入れ汲む井戸に思いはせ

森 さちゑ

二度三度断わり誘い来なくなる

朝倉 立子

さんま焼く匂い誘われ入る店

砂田 治美

この道に誘ってもらい感謝です

彦坂 直政

この頃は女が誘う自由な世

高橋 良子

目配せの誘いに群れて縄のれん

河合 正秋

誘われて彼と手を取りお堀端

夏目 敏子

誘われたお洒落な店でにぎり鮎

森 登子



■杉山校区 高明日望会
隠したい隠せないのが顔の皺

彦田すみ子

終活のしめは卓球弾む音

竹内 澄子

競い合う高値の野菜見栄を切る

中神佐和子



■杉山校区 泉向山明日望会
大事にと隠せば探す老いの日日

井土 幸子

足腰に比べ加齢は知らぬ口

花井 稔

■大清水校区 第一豊松会
思い切り生きた証の庭静か

彦坂 昌代

秋冷えに冬物衣類さがし出す

小長谷あいの

横断は車をにらみやり過ぐす

石川 重行

■大清水校区 第二豊松会
おおしみず清水湧き出たおらが街

彦坂 登

■大清水校区 柳風会
好きな服流行遅れ気がひける

平山 憲子

■福岡校区 小池元町百寿会
秋の花咲く暇もなく冬が来る

中野美美子

■飯村校区 第二飯寿会
笑われる私の動作石路に

夏目つたみ



己貴神社境内の清掃活動を行っ



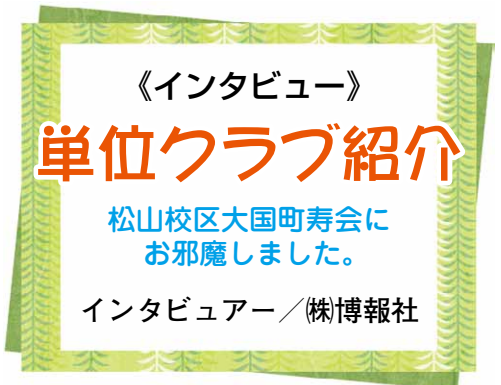
また、大國町寿会では、市の「530運動」にあわせ毎年5月とお正月前の年2回、会員有志が参加する大己貴神社境内の清掃活動を行っ

松山校区に属する14の単位クラブの一つが大國町寿会です。さらに「大國町」と言っ

■地元企業と連携して社会奉仕活動



金田 好正 会長



ています。特に、5月の第2日曜は神社の祭礼にあたるため、「530運動」に参加すること、直接大黒様への感謝の気持ちを伝えることができるような気がしています。もちろん、自分たちの町がきれいになるのはとても嬉しいことです。

ただ、木の高いところに手が届かず、朽ちた枝や枯れ葉を取り残していました。私たちが手をこまねいている様子をご覧になったのでしろう、門前に社屋を構える豊橋建設工業株式会社の皆さまが「一緒にやりませんか」と声を掛けてくださったのです。ご厚意を受けて、平成20年から共同清掃作業がスタートしました。伸びすぎた木の枝の剪定や社務所の屋根に積もった枝葉の除去、瓦の汚れを流す、高い木に飛来するゴミを取り除くといった作業は、高齢者にとって相当な危険を伴います。このような作業を豊橋建設工業の皆さまにお願いしています。気づけばもう8年も老人クラブと地元企業が一体となって社会奉仕活動を続けることができています。

■歌で深まる交流

もう一つユニークな活動として、男声合唱団「ふんけんクラブ」との交流があります。ふんけんクラブの幹部が元大國町自治会長で、寿会会員でもあり、さらに名誉会長も元大國町副自治会長というこ

縁があるため、私ども寿会会員を演奏会に招待してくださいます。毎回楽しみに参加させていただき、団員の皆さんの美声に酔いしれています。

■寿会のさらなる発展

これまでも「何事も挑戦！逃げてはいけない！」という気持ちでクラブの運営に取り組んできました。催しに多くの会員が出席してくれることは、何よりの喜びです。物事はみんなと相談して行うことが大切なので、みんなに協力していただけるような雰囲気づくりを心掛けています。

今、全国の老人クラブが抱えている共通の課題は会員増強です。寿会では自治会の協力を得ながら、60歳以上の方すべてを「会員」と見なすことを承諾してもらっています。このように地域のつながりを密にし、さらなる寿会の発展を目指していきます。

ゆたかクラブ豊橋からのお知らせ

◆趣味の教室発表会日程表◆

ブロック名	開催日時	開催場所
仁連木	平成29年2月21日(火)	仁連木老人福祉センター
つつじが丘	平成29年3月5日(日)	つつじが丘地域福祉センター
大 岩	平成29年3月11日(土)	大岩老人福祉センター
牟 呂	平成29年3月10日(金)	牟呂地域福祉センター
高 師	平成29年3月14日(火)	高師老人福祉センター
大清水	平成29年2月18日(土)	大清水地域福祉センター
下 地	平成29年3月9日(木)	下地老人福祉センター
石 巻	平成29年3月4日(土)	石巻老人福祉センター
八 町	平成29年3月16日(木)	八町地域福祉センター

ご協賛各位へのお礼

この度「吉田春秋」の発刊にあたりまして、広告掲載のご協力を賜り誠にありがとうございました。本紙は、会員が生きがい・健康・教養を高めながら交流の輪が広がるよう願って刊行いたしております。今後とも何とぞ末長きご厚誼、ご支援をお願いいたします。

ゆたかクラブ豊橋

編集後記

吉田春秋をお届けします。今号もたくさんのご投稿をいただき、ありがとうございました。広報文化部では、皆さま方のご意見・投稿などをお待ちしております。

今後とも読みやすく楽しい紙面づくりに努力してまいりますので、よろしくご支援をお願い申し上げます。 ゆたかクラブ豊橋 広報文化部

原稿募集

◎校区活動、単位クラブ活動、俳句、短歌、川柳、随想などの投稿を募集します（写真を添付いただく場合はきれいなものをお願いします）。◎原稿用紙600字。俳句・短歌・川柳については各1点ずつお願いします。

◎原稿は、市内在住の市老連に加入している方に募集しています。必ず、校区名・単位クラブ名・氏名を明記してください。

◎紙面の都合上、やむなくカット・見送る場合があります。

◎締め切り／5月末日

◎投稿先／ゆたかクラブ豊橋事務局（豊橋市今橋町1番地・豊橋市役所長寿介護課内）

☎51・2337